

# 阿波市 議会だより

## 第40号

年4回発行  
[平成28年9月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会  
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1  
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764  
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

### 平成28年 第2回

### 阿波市議会定例会の概要

第2回定例会は、6月6日から27日までの22日間の会期が開かれました。

開会日には表彰状の伝達があり、全国市議会議長会から稲岡正一議員、若本雅雄議員、阿部雅志議員、江澤信明議員、森本節弘議員が表彰され、木村松雄議員に感謝状が送られました。また、四国市議会議長会から出口治男議員が表彰されました。

続いて野崎市長から、阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議、阿波市戦没者追悼式等についての行政報告と、県市長会議、四国市長会議における要望事項や、知事・市町村会議での意見交換について説明がありました。

このあと副議長の辞職に伴う選挙が行われ、新副議長に藤川豊治議員が就任しました。

また、平成28年度一般会計補正予算、条例の一部改正などの議案について概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問は15日、16日の2日間にわたり行われ、9人が市政全般について理事者の考えを問ひ、学校給食センターや教育について、農業・建設関係について、財政問題や第2次総合計画、まちづくりについて等議論しました。

20日に文教厚生、21日に総務、22日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

開会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも可決しました。また、追加議案として人事案件3件が提出されいずれも同意しました。



川人 敏男 議員  
(明日の阿波市をつくる会)



松村 幸治 議員  
(阿波清風会)

### 代表質問

吉田 正 議員  
(阿波みらい)



**問** 阿波市給食センターが新築完成し民営化に移行し2年目に向かつての状況と、保護者と子どもたちの1年経過した反応について。

**答** 昨年6月実施の見学会において保護者より栄養のバランスが良いと意見をいただいた。子どもたちには昨年7月にアンケートを実施。結果を検証し、献立作成や食育の参考としている。

**問** 市内の県管理の河川整備計画と今後の事業要望について。

**答** 市内に県管理河川は44ある。河川氾濫や堤防決壊の被害防止の整備を県に強く要望している。平成28年度事業は河川護岸整備工事を実施予定。今後も国・県に河川整備促進を要望する。

**問** スマートインターチェンジ



松永 渉 議員  
(阿波清風会)

**問** 第2次総合計画について。

**答** 設置計画事業の現状について。市議会で平成18年12月に地域活性化インターチェンジ調査特別委員会を設置。国土交通省に要望を重ねた結果、準備段階調査(直轄調査)に阿波市が選定された。今後、整備実現に向け、努力したい。

**問** 県立阿波農業高校跡地の遊休地利用を県に要望し、内陸型工業団地とし誘致に向け交渉しては。

**答** 施設の一部は吉野川高校の実習に使用している。今後は教育や企業誘致など有効な活用方を検討していく。

**問** 阿波町下伊沢谷川橋路面の修繕工事を早急に県に要望すること。

**答** 県道鳴門池田線は主要幹線道路であるため、県も早急に路面の舗装修繕を行う予定である。

**問** 格差社会について。国では経済再優先による社会格差が広がる中、格差是正の方策として、同一労働同一賃金の検討を始め、阿波市は格差是正、同一労働同一賃金をどう進めるのか。また、臨時保育士の給与格差、不公平は正にどう取り組むのか。

**答** 同一労働同一賃金については、国の法整備の動向等に注視しながら、給与・賃金制度の運用の中で、格差の是正等に努める。臨時保育士の賃金は、本年度において月額賃金を200円アップし、時給約千円に見直し



木村 松雄 議員  
(志政クラブ)

**問** 若者が楽しく夢を持てるまちづくりについて市長の施策は、また、まちづくりの構想で中期長期のビジョンは。

**答** 雇用の創出や子育て支援のさらなる充実が重要課題である。乳幼児等の医療費助成の対象拡大や保育料の第3子以降の無料化、病児・病後児保育の実施等、結婚や出産の希望を叶え、豊かで安全な自然環境の中で暮らすという生活環境の実現こそが若者が夢を持って生活できる土台と考えている。また、第2次総合計画の中で総合的な判断のもとに中期長期のビジョンを明記したい。

**問** 災害が何時どのようなかたちで発生するのかわからない今日、消防団の機能強化のため阿波市消防団の拠点を設置しては。

**答** 総務省消防庁より消防団の活動拠点の標準的なモデルが示

### 一般質問

榎原 賢二 議員  
(阿波絆)



**問** 平成27年度末の阿波市の財政状況について。合併特例債の活用額、主な事業は。

**答** 発行額は約14.5億6790万円。活用事業は小・中学校の耐震補強・大規模改修、新庁舎及びアエルワ等がある。

**問** 市債残高のうち後年度に何割ほど財政措置されるのか。

**答** 市債残高は約24.3億5236万円で79%が財政措置され、市負担分は、21%の約5億1400万円となる。

**問** 基金残高と県下8市での財政状況は。また、基金残高から市負担分の市債残高を引いたら黒字か。

**答** 基金残高は約13.3億1400万円を見込む。健全化判断比率は、8市の中で1・2位の良好な指標である。残高の差は黒字の約82億になる。

**問** 徳島中央広域連合西消防署の建設地の選定について。幹事会・連合議会の内容は。

**答** 平成26年12月の連合議会で「新庁舎建設基本構想」が策定され、平成27年度第4回幹事会で、両市が候補地を一カ所ずつ提案したが、本年3月までの3回の連合議会では合意に至らず。

**問** 西消防署建設地の決定には、吉野川市と兄弟以上の関係が必要では。

**答** 建設地の決定が遅れると市民の安全確保に支障をきたすことから、本年4月に両市で協議を行い、現西消防署南側駐車場付近を建設候補地とするとし、6月3日の連合議会臨時会において承認された。

**問** 人口減少、少子・高齢化に歯止めをかけるため、アンケート調査を実施。市民のニーズは雇用の場の確保。しかし、市は防災事業を国に申請した。イエローカードを出して反省を促す。

**答** 市民の安全・安心を優先するとともに、沿岸部の後方支援を行うため防災事業を申請した。

**問** 新庁舎とアエルワは、活断層に近く、土砂災害警戒区域に建設。一方外壁タイルの施工ミスが判明、内部の壁のところでころにもヒビが入っている。外部の専門家による委員会を設置し、全体的な点検を提案する。

**答** 専門家による検査体制の立ち上げを検討する。

**問** 旧役場庁舎の再利用、解体について地元住民に説明したか。解体の場合、建築士不在で工事費の積算、安全性のチェック等にぬかりはないか。

**答** 地域への説明は行っていない。設計業務、管理業務は、業者へ発注する。なお本年度に市場庁舎を、次年度に土成・吉野庁舎を解体する。

**問** 本市の税金を投入して、沿岸部の防災の諸施策を講じている。阿波市の予算は、阿波市民のために使うのが原理原則である。大変遺憾な市政運営で、レッドカードを出して猛省を促す。

**答** 国交省から後方支援基地として指定を受けている。県とも協定を結んでいる。

**問** 社協と連携した地域福祉の推進について。社協の「現場の課題」を県や国に届けていくべきだと考えているがどうか。

**答** 福祉サービス水準の確保や実情に即した制度の見直しなど、共通の課題については、市長会等への提案を通じて国や県に對し要望していくよう努めてまいりたい。

**問** 社協のノウハウや人的資産の活用について、どう考えているか。

**答** 社協の蓄積しているノウハウや人的資産を積極的に生かすことが可能な事業等は、阿波市社会福祉協議会経営検討委員会において協議をし、地域福祉の拠点としての活動を支援したい。

**問** 民生委員の役割や取り組みの啓発、広報等を市として積極的に行うべきと考えるが。

**答** 非常に重要であると考えている。広報阿波やACNなどの情報媒体やさまざまな機会を捉え、啓発や周知を図る。

**問** 小・中学校の耐震化と施設の大規模改修が終わったが、大規模改修にかならなかった小・中学校の設備等が逆に遅れが目立つように思われるが。

**答** 学校施設の改修について優先順位をつけ、計画的に改修等を行いたい。



谷 美知代 議員  
(阿波みらい)



森本 節弘 議員  
(志政クラブ)



榎原 伸 議員  
(阿波清風会)



**問** 医療機関と連携した災害時の支援・対策について。特別な治療や食事が必要な方に対する支援について具体的に説明を。

**答** 市医師会の協力を得て医療救護所を4か所開設し、医師や災害派遣医療チーム(DMAT)による医療救護活動を行う。特別な治療や食糧備蓄は医療機関が主体的に対応を検討している。

**問** 介護施設や障害者施設への災害時の支援・対策について。施設間での協力体制、避難した場合の対応策、紙おむつや流動食等の提供はどうなっているのか。

**答** 各施設の連携体制の把握と今後の連携を働きかけたい。紙おむつは市内救護所に準備済。流動食等については、今後必要数備蓄できるように努める。

**問** 独居及び高齢者世帯への災害時の支援・対策について。避難時に介助が必要な方や避難できない方の把握、移動の方法や所要時間など。また、地域の協力体制や避難訓練の実施などの計画がなされているのか。

**答** 安否確認及び避難行動の支援が必要な方について、避難行動要支援者名簿を作成しており、災害発生時には、地元消防団による安否確認を行っている。今後、地域での支援者や、この避難所に避難するか等を明記する個別支援計画の作成に努める。自主防災組織には、要支援者参加のもと、避難訓練の実施をしていただけるよう働きかけたい。



**問** 安心・安全のまち阿波市づくり推進事業について「受援計画・受援マニュアル」の策定をどのように考えているか。

**答** 総合戦略において、本市の強みとして掲げた、農業と安心・安全に係る分野で事業提唱し、採択された「地方創生加速化交付金」を基に、移住定住の基本的な条件である「地域の安心・安全を確保し、安全で住みやすい阿波市」を全国にアピールする狙いの事業として進めている。受援計画についても、熊本地震を教訓に過去の事例を踏まえ、阿波市地域防災計画等の策定の中に対応策を盛り込み、防災体制について万全を期してまいりたい。

**問** 地方創生について、プロジェクトチームとどのような組織なのか。また「徳島県地方創生特区制度」について、どう取り組むのか。

**答** 部局にまたがる事業の連携や調整を効率的に行うため、担当部長を先頭に、4つに編成した地方創生推進チームを4月に立ち上げた。徳島県版地方創生特区の活用についても本市の優位点でもある「農業、子育て、安心・安全」これらを生かした市の魅力アピールし、住みよいまちづくりを実現していくため検討してまいりたい。

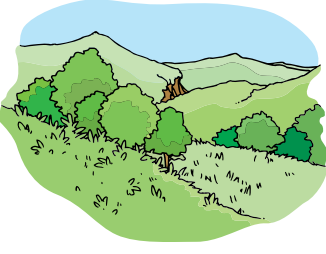
**問** 認知症対策について。認知症高齢者の増加が予想されることから地域支援体制では認知症サポーター養成講座を実施、5月末現在1448名のサポーターを拡大、サロン活動や認知症カフェなどにより予防を図る。医療・介護体制では従来からの事業に加え、平成29年度より地域支援ケア向上事業で関係機関との連携強化を図り、認知症初期集中支援推進事業では、早期診断・早期対応により住み慣れた地域で生活できる支援体制づくりに努める。

**問** 病児・病後児保育の取り組みと本年度予算の内容について。

**答** 保護者のニーズが非常に高く、平成27年度に阿波市医師会と協議の結果、医療機関との合意に至る。本年度当初予算893万円を計上し、業務委託料493万円、施設改修補助金400万円で、できるだけ早い開設を目指す。

**問** ふるさと納税にモニター制度を取り入れてはどうか。

**答** ふるさと納税の認知度が上がっている。今後の取り組みとして情報サイトによる発信力、阿波市出身者などへの個別訪問による寄附者の増加を図っていく。モニター制度についても市の方針と共通する部分があり、参考にしたい。



## 活動状況報告

### ●産業建設常任委員会現場視察

7月4日、「阿波市やすらぎ空間整備計画」における拠点づくりの一環として整備予定地の、阿波土柱の湯周辺や土柱そよかぜ広場を視察しました。旧阿波町時代の既存施設を核として、遊歩道の修繕や、LEDによるライトアップ、植樹ができる敷地計画内容の説明を受けました。「阿波の土柱」周辺が、市民の憩いの場や観光の拠点となり、多くの人々がふれあい、にぎわう場になるよう期待しています。



### ●平成28年度徳島県町村議会議員研修会

7月19日徳島市において、県町村議会議長会主催の研修会が開催されました。この研修会は本年1月に県議会、県市議会議長会、県町村議会議長会の3団体による連携協定締結に基づく事業であり、県内より300人以上の議員等が集まり、国際政治・軍事アナリストの小川和久氏と福山大学客員教授の田中秀征氏による講演がありました。



### ●委員会等の開催状況

6月3日 全員協議会	7月4日 産業建設常任委員会
20日 文教厚生常任委員会	19日 平成28年度町村議会議員研修会
21日 総務常任委員会	8月17日 議会広報特別委員会
22日 産業建設常任委員会	29日 議会運営委員会
27日 全員協議会	全員協議会

平成28年第3回定例会は9月5日(月)開会の予定です。詳しい日程は、議会事務局(0883-36-8750)までお問い合わせください。

## 議会を傍聴してみませんか

議場は市役所3階にあります。34席の傍聴席と、車いすのまま傍聴していただけるスペースもあります。開会時刻は10時からです。どうぞお気軽にお越しください。



行政視察受入状況  
7月20日 熊本県人吉市「市庁舎及び交流防災拠点施設建設事業について」

議会だより 編集雑感  
グローバルイズムをつれづれに考えてみた。一言で言えば、ヒト・モノ・カネが地球規模で瞬時に自由に往來する社会。従って、著しく競争が激化する。さらに自由主義・市場主義経済では、一般的に強い者はより強く、富める者により富が集まり、知識・資格の価値がより高まることになる。一人ひとりにチャンスは生まれるがピンチにもなる。本市も、努力した者が報われる社会づくりに向けて、市民の暮らしを守っていく知恵が求められる。

(川人 敏男)

## 平成28年第2回 阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表 (6月6日~6月27日)

議案番号	議案名	議決結果
—	副議長選挙について	選挙
議案第76号	平成28年度阿波市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第77号	阿波市一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定について	原案可決
議案第78号	阿波市消防団の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度阿波市一般会計補正予算(第8号)について)	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について)	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度阿波市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について)	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について)	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について)	承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第4号)について)	承認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて(阿波市税条例の一部改正について)	承認
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて(阿波市国民健康保険税条例の一部改正について)	承認
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて(阿波市青少年育成センター設置条例の一部改正について)	承認
報告第2号	平成27年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第3号	平成27年度阿波市水道事業会計予算繰越計算書について	—
—	徳島県後期高齢者医療広域連合議会の議員選出について	選挙
—	徳島中央広域連合議会の議員選出について	選挙
議案第79号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第80号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第81号	固定資産評価員の選任について	同意